

まちなちの話題

秋のまつり さまざまなイベントで

こども祭り新鮮朝市 秋の大漁収穫祭

11月28日(日)、すくすくこども館で「こども祭り新鮮朝市秋の大漁収穫祭！」が行われ、たくさんのお買い物客が訪れました。

9月に行われた夏まつりに続き、今回は秋の大漁収穫祭と銘打ち、いつもとは違った盛り上がりのある朝市になっていました。



オープニングに、よさこいチーム「夢幻天舞」が2曲踊って華を添え、収穫祭がスタート。そのほか、おなじみの金多豆蔵人形芝居や海峡マグロの解体・

即売、競り市、のど自慢、瓜田益子歌謡ショーなど、盛りだくさんのメニューで会場を沸かせました。会場には地元住民のほか、千里地区からの来客もかなりあり、朝市が町の恒例イベントとなっていることが感じられました。

若者を支え続けた功績

長谷川道義さん厚生労働大臣表彰を受ける

若者を積極的に雇用し、高校生の就業に貢献した功績が認められ、このたび長谷川道義さん(若葉町地区)が厚生労働大臣表彰を受けました。

長谷川さんは、昭和56年にそれまで個人経営だった製作所を会社組織にし、それを機に金木高校小泊分校の定時制生徒へ内職を斡旋。自宅を仕事場として解放するボランティア活動を始めました。一生懸命仕事に励む生徒の姿を見て、せめて最低賃金(当時は2600円)になる仕事はないものかと奔走し、大手電子機器メーカーの県内工場から仕事を受注。アルバイト先として生徒の受け入れを続けながら、正社員としての雇用も行い、定時制生徒の就業支援に大きな功績を残しました。学校が閉校する平成20年3月まで、PTA会長として学校を支え、現在も変わりなく卒業生を会社で雇用しています。

受賞の感想を長谷川さんに聞くと「ゆめゆめ思ってもいなかった。賞をもらうほどのことはしていないんだけど……」と謙遜気味。当時の話を長谷川さんに伺うと「とにかく子どもたちに仕事をさせたい一心で始めたが、次第に最低賃金より安い内職ではかわいそうだ

と思い、仕事を探しに回った。家庭の事情が悪い生徒もいて、会社に来なくなったときもあったが、その後一生懸命やっている姿を見ると、充実感があるし、すごくうれしかったね」と晴れ晴れした表情で語ってくれました。



奥津軽をより深く ロータリークラブ ーM開催

ロータリークラブのインターシテイミーティングが、11月6日(土)にパルナスで行われ、西北五つがる地区のロータリークラブ会員が一堂に集い、お互いの親睦を深めました。

今回のインターシテイミーティングは、会員同士の面識と親睦のほか、奥津軽をもっと知っ



てもらおうということを目的に開いたもので、今年は町での大会が開かれました。

開会セレモニー後の基調講演では、町博物館学芸員の齋藤係長が「考古学から見た奥津軽」と題して講演。中世には蝦夷が島(現在の北海道)との境界として認知され、流刑地あるいは怪異が住む地域としてとらえられていたこの地方が、実は考古学的に縄文から近世に至るまで、十三湖を起点とした活力ある地域として位置づけられていたことを発表し、会場の会員は興味深げに聞き入っていました。会員はその後懇親会の中で、お互いに交流を深め合っています。

みちのく銀行労働組合が 児童用図書にと図書カードを寄贈

11月17日(水)、みちのく銀行労働組合の関川勇一執行委員長が町役場を訪れ、図書カード10万円相当を寄贈しました。

これは、例年みちのく銀行労働組合が各市町村に対して行っている社会貢献活動の一環で、子どもたちの読書活動支援のため、児童用図書購入のために寄贈されたものです。

訪れた関川委員長は、町長に目録を手渡し、町長は「大変ありがたい。子どもたちへの図書購入のために役立てたい」と喜んでいました。



笑って楽しく長生きを 老人クラブ連合会芸能大会

11月19日(金)、老人クラブに所属する高齢者が一堂に会し、町老人クラブ連合会(会長・白岩隆逸)の芸能大会がパルナスで行われました。

開会式では、同連合会の白岩会長が「人生はなんといっても健康、長寿が一番。その中でも笑うことは長寿にいいそうです。今日は大いに笑って、楽しく過ごしましょう」とあいさつ。来賓の町長も「今年には米の減収など大変な話題が多いが、今日は大いに笑って過ごしてください」と、これから開かれる芸能大会を存分に楽しんでもらうよう話していました。

おなじみの秋元正美さん(豊島地区)の司会で始まった芸能大会は、飛び入りも含め28の団体・個人が舞台上に立ち、歌や踊りなどを披露。観客からはたくさんの拍手が送られ、1日を楽しく笑って過ごしたようです。



今年度の家族経営協定合同調印式が、11月17日(水)パルナスで

農業経営の意欲向上を目指して 家族経営協定調印式に27組

開かれ、27家族が協定書に調印しました。

家族経営協定とは、農業経営に関わる家族がやりがいと意欲が持てるよう、経営方針や役割分担、就業環境などを、協定書として残すことです。

この日出席した家族は、事前に家族の間で話し合われた協定書に署名・押印。記念写真では晴れ晴れとした表情を見せ、これからの農業経営に思いを及ぼせていました。

少年柔道家が奮闘 米塚杯争奪 柔道大会

11月14日(日)に体育センターで、米塚義定杯争奪柔道大会が開かれました。

今年で16回目を数える同大会には、県内の小・中学生375人が参加。昨年旭日小綬賞を受章した米塚義定氏も来場し、参加する子どもたちにエールを送っていました。



■中学校女子団体
第3位 中里中学校

- 第1位 葛西大悟(中里誠心塾)
- 小学校女子1・2年個人
第1位 野上莉来奈(中里誠心塾)
- 小学校女子5・6年個人
第3位 野上凜音(中里誠心塾)
- 中学校男子1年個人
第1位 奈良翔太(中里中)
- 中学校女子1年個人
第3位 大橋芽依(中里中)
- 中学校女子3年個人
第1位 鈴木瑞季(中里中)
- 米塚賞
野上凜音(中里誠心塾)

ハロウィンをさまざまな催しで体験 子ども会ハロウィンパーティー

日本海漁火センターイベントホールで11月7日(日)、子ども会主催のハロウィンパーティーが催され、約30人の子どもたちが仮装コンテストやゲームを楽しみました。

さまざまな催しの中、メインイベントの仮装コンテストでは、子どもたちが魔法使いやトランプマン、メイドなどに扮し、会場を大いに沸かせていました。

結果は、最優秀賞に「魔法使いのペア」熊木慧都ちゃん・堅くん、アイデア賞には自衛隊に扮した山田法康くん、ファンタジー賞にはトランプマンの藤田実桜ちゃんが選ばれました。

コンテストが終わると、みんなで作る試食会。ババロア寒天やフライドチキン、パンプキンドーナツ、野菜スープに舌鼓を打ち、そのほかジャンケンゲームなどを行って、終始盛り上がったパーティーでした。



奥つがる子どもブックフェア#6
すつかり恒例となった町図書館のブックフェアが、今年も総合文化センター「パルナス」で開かれ、子どもたちや親子のほか、小泊福祉センターのデイサ

エコの要素随所に

ービス利用者あわせて約70人が参加しました。

11月27日(土)に行われたブックフェアは、今年で6回目。「E CO」って、ステキなこと！」と題し、絵本の読み聞かせ、手遊び、工作を楽しみました。

最初の読み聞かせには、町内外から5団体が登場。おはなしの内容がエコなものもあれば、本が牛乳パックで作られたものもあり、エコの要素が散りばめられています。
続いては手遊びの時間。絵本作家・中川ひろたかさんの作品「たちねぶたくん」にある「た

ちねぶた音頭」に合わせて、みんなが楽しく踊っていました。最後は、牛乳パックを使ってのペン立てづくり。のりと千代紙を使って、ステキなペン立てを完成させていました。
会場は、子どもたちの大きな笑い声が響き渡っていて、楽しみながらエコを考えるいい機会になったようです。

弘前大学公開講座

子育てのヒントを学ぶ

生涯学習の一環として行われた3回目の弘前大学公開講座が、10月26日(火)パルナスで行われ、18人が受講しました。
この日は、弘前大学生涯学習



教育研究センターの講師 深作拓郎氏が「子どもが育つ地域の生活と遊びを考える」と題して講演。前半は参加者と一緒にゲーム形式での遊び体験、後半は講義を行って、受講した参加者は熱心に聞き入っていました。

深作氏の講義は、子どもや大人にとっての地域と暮らし、遊びの意味、そして今求められる子育ての視点など、非常に示唆に富んでおり、受講生の興味を引いていました。

町内から参加した保育士は、「ゲームなどがあったせいで楽しめた。先生が最後に言った『見守る保育』というキーワードが印象的でした」と、今後の仕事に生かせる話が聞けてうれしそうでした。

広告

寒い季節になってきました

ピュア食堂 冬のおすすめ



みそラーメン ¥650



肉鍋 ¥700

新幹線でお出でのお客様

ボリューム満点の食事！
ユニークなトマト入ラーメン！
が自慢の当店へぜひお越しください。

トマトのマークが目印！
中泊町特産物直売所「ピュア」内

「ピュア食堂」

出前も
できます

☎ 0173-57-5011

仕事の重要さを体で感じる

中里中学校 職場体験

11月2日(火)、中里中学校の3年生4人が役場を訪れ、役場の仕組みを学んだり、業務を経験する職場体験を行いました。

この日訪れたのは、小山内功宇太くん、田中竜矢くん、加藤駿くん、岩間光平くんの4人。総務課職員の案内で、各課の業務を聞いたり、町民課でレセプト(診療報酬明細書)の整理といった体験をし、特にレセプト整理は苦労していましたが、一生懸命業務をこなしていました。

4人からは、後日手紙で「貴重な体験だった」「いい経験だった」「今回の体験をもとに将来について考えたい」といった感想が寄せられました。



ソフトテニスで快挙 平川市の大会で 優勝!

9月25日(土)、青森県ソフトテニス連盟が主催した第7回会長



杯市町村対抗小学生ソフトテニス大会が平川市で開かれ、中泊ジュニアソフトテニスの女子が優勝、男子も準優勝という成績を収めました。

男子は決勝リーグを3勝1敗としましたが、4勝の平川市に惜しくも及ばず。女子はトーナメント準決勝の十和田市を破り、決勝では6連覇中のおいらせ町を破つての初優勝でした。

ボランティアで表彰 めんだりカッチャの会



10月28日(木)県庁で、平成22年度青森県ふれあい活動功労者の知事表彰が行われ、町のボランティアグループ「めんだりカッチャ」が表彰を受けました。
めんだりカッチャは、内湯療護園でデイサービスを行っており、日曜日を除いた週6回、会員3人1組で昼食の配膳や食器洗いなどをボランティアで行っていて、今回はその活動が認められての表彰です。

お詫びと訂正

11月号で紹介したウオーキング大会「さああさぐべしなかどまり」の記事中、健康運動指導士のお名前を葛西仁美さんと紹介しましたが、正しくは「葛原仁美」さんです。申し訳ありませんでした。お詫びして訂正させていただきます。

年金の請求を忘れていませんか? 心当たりがあればお早めに「相談ください」

【厚生労働省・日本年金機構】

①年金の加入期間が25年未満の人

加入期間が25年未満でも、カラ期間(※)と合わせて25年以上あれば年金が受け取れます。

※カラ期間の例：サラリーマンの配偶者であった期間のうち、昭和61年3月までの間で国民年金に任意加入していなかった期間など

②年金の受け取り開始を66歳以降に繰り下げている人

70歳になっても年金は自動的に支払われません。

年金を受け取り始めるには請求が必要です。

③厚生年金への加入期間がある65歳以上の人

「老齢厚生年金」と「老齢基礎年金」の2種類の年金が受け取れます。片方の年金だけを受け取っている人は、受け取っていない年金を請求してください。

片方の年金の受け取り開始を繰り下げている人は、70歳になるまでに年金を請求してください。

④厚生年金への加入期間がある人で「65歳になってから年金を受け取るう」と思っている人

要件を満たす人に対して支払われる「特別支給の老齢厚生年金(※)」は、65歳になる前に請求しても年金額が減らされません。速やかに請求してください。

※特別支給の老齢厚生年金：65歳前に受け取ることができる老齢厚生年金

⑤60歳以上で会社にお勤めの人

現在会社にお勤めの人も、年金を受け取る資格を満たしている場合は請求の手続きを行ってください。

給与の額などに応じて、支払額の調整が行われる場合がありますが、全額停止の場合を除き年金を受け取ることができます。

■ご相談はお近くの年金事務所、街角の年金相談センター、またはねんきんダイヤル ☎0570(05)1165まで

※IP電話・PHSからは ☎03(6700)1165